

中和津道路(国道165号)の早期整備と重要物流道路の指定について

【担当省庁】国土交通省

宇陀市における取組

(現状)

中和津道路(国道165号)は、奈良県中部と三重県中心部をむすび紀伊半島を東西にネットワークする広域道路であり、令和3年7月に国及び奈良県から発出された新広域道路交通計画に基づく広域道路ネットワーク計画にも位置づけられた。

(課題)

桜井市～宇陀市～名張市～伊賀市～津市の区間は山地部であり、大型車の対向が困難な区間や見通しの悪い狭隘な個所、渋滞個所など広域道路として、早期事業化による、課題解消が求められる。

(取り組み)

令和4年2月15日に三重・奈良県境をはさむ名張市・宇陀市が中和津道路(国道165号)整備促進協議会を設立した。

新たに、令和5年9月29日に橿原市・桜井市・伊賀市・津市が加入した。

今後、国道165号沿線の他の自治体とも連携し、早期事業化及び重要物流道路の指定に向け取り組みを進める。



中和津道路(国道165号)整備促進協議会設立



中和津道路(国道165号)整備促進協議会臨時総会

国にお願いすること

令和3年7月に国及び奈良・三重両県から発出された、「新広域道路交通計画」において、広域道路ネットワークに位置付けていただいた。

中和津道路(国道165号)は、紀伊半島を東西に結ぶ道路であるため、早期事業化について以下のとおり要望する。

○宇陀市をはじめ沿線自治体にとって、国土強靱化、企業立地推進、医療拠点へのアクセスなど、奈良県・三重県の持続可能な発展のために欠かせない道路であり将来の重要物流道路の指定を目標として、早期事業化をお願いしたい。

